



2万人が来場

にぎわった緑と花の百科展

富士市緑いっぱい市民の会では、第2回緑と花の百科展を10月22日、市役所広場で開かれました。会場には2万2000本余りの花や植木、300個の水石が出陳され、午前中の雨にもかかわらず2万人が押しかけました。売れたのは、松が一番で、ツツジやシヤクナグ、チンチヨゲなどに人気が集まっていました。このほか、花壇コンクールの表彰式や野立てなども行なわれました。花壇コンクールは、13地区の花壇が対象となり、10月9日に審査員が各地区の花壇を見て回り賞を決めました。今回は伝法地区花の会が市長賞を獲得しました。

■ 3才から72才までの力作を展示

……広見地区が文化祭……

広見町や石坂、若松など16町内が集まって、広見地区の文化祭を10月22日、広見公会堂で行ないました。会場には3才の松田しゆうじ君（広見保育園）の絵をはじめ、72才の谷口たかさん（広見2）の書道など、子どもからお年寄りまでの作品300点が展示されました。



■ フィンランド駐日大使が公式訪問

フィンランド駐日大使のオズモ・ラレス氏が10月31日、渡辺市長を公式訪問しました。大使は富士文化センターで開催されたフィンランドの加工紙、紙製品研修セミナーに出席するため富士市を訪れたもので、この日の正式訪問となりました。

(写真中央がオズモ・ラレス氏)